

第13回 「なぜなぜ分析」ワンポイント応用編

ここでは、拙著の本に紹介していない応用編について、紹介したいと思います。（ただし、いつか活字になるかも(?)しれません。お約束できませんが……）

あわせて、「なぜなぜ分析」の基本については、ぜひ当社ホームページ、インフォメーションに記載の書籍等をご覧下さい。

2006年 4月 5日

有限会社 マネジメント・ダイナミクス

小倉 仁志

jin-ogura@management-dynamics.co.jp

物事のつながりを意識して「なぜ」を展開すべし

時間をかけて分析しても、真犯人が見つからないなんて事はありませんか。
そんな場合は、ご自身の物事に対する見方を疑ってみてください。

意外に私たちは目につくようなモノや事柄には目をつけますが、そのモノや事柄につながっている小さなモノや事柄を見逃しているケースが少なくありません。

陰に隠れていて見にくい部品や、単純な受け答えといった日頃あまり気にしないところに、犯人が眠っていることが多いものです。

そんなところにも、「なぜ」のメスを入れられるようにするためには、モノや事柄のつながりをしっかり意識して分析していかなければなりません。

まるで、虫眼鏡を持った探偵が犯人の足跡を追うのと同じです。

製造現場や工事現場、間接業務等、どんなテーマでも、同じことが言えます。

ぜひ、このことを念頭において、「なぜなぜ分析」を進めてみましょう。きっと容疑者の割り出しが楽しくなるはずです。

以上